

広報 にいかっぷ

2026

10

No 714

節婦漁港の灯籠流し



2 牧場作業を体験し、競馬を知る



日高町のサンバマウンテンファームで牧場作業を体験し、門別競馬場ではバックヤードツアーなどを通して、牧場と競馬のつながりを学びました。

口取り写真にも参加



バックヤードツアー中、作業を体験した牧場の馬がレースに勝利。ツアーを一時中断し、口取り写真に参加しました。

3 人と話し、新冠を考える



町民や軽種馬産業に関わる人たちとの座談会を行い、仕事や暮らし、新冠の魅力や課題について話し合いました。

カヌーにも挑戦



座談会で新冠川でのカヌー体験が話題になり、学生たちは興味津々。夕食前に急ぎょ体験することになり、思いがけない出来事となりました。

4 4人が考えた、新冠のこれから



鈴木 幹太さん

町の魅力をつなぎ、周遊を生み出す

町内のさまざまな施設や資源をつなぎ、共通券やモデルコースなどを活用して、町を巡る仕組みをつくることを提案しました。



和泉 悠太さん

新冠の魅力を発信し、子どもの体験を未来へ

町の魅力を発信するとともに、子どもたちが馬や地域に触れる体験を通して、将来の新冠への思いを育むことを提案しました。



武田 知士さん

通り過ぎるまちから、滞在して楽しむまちへ

馬や自然など新冠の魅力を生かし、宿泊や体験を組み合わせた滞在型観光へ転換することを提案しました。



守時 早紀さん

馬を生かした体験を、未来の関係人口へ

子どもたちを対象に、新冠を巡りながら馬や地域に触れる体験プログラムを設け、将来的な関わりにつなげることを提案しました。

このフィールドワークを支えた人たち

地域おこし協力隊

南 秀瞭さん



昨年、学生として体験活動に参加したことをきっかけに、地域おこし協力隊として活動することを決意しました。今年は主催者側として学生たちの行程をコーディネートしました。

様似町「アポイワークス」

代表 徳重 誠さん



東京大学大学院在学中に法政大学の軽種馬産業体験活動を見たことをきっかけに本事業を立案し、東京大学の学生向けプログラムとして実現しました。今年で2年目となり、参加する学生の選抜も行っています。

東京大学医学部健康総合科学科

特任助教 飯山 智史さん



昨年の体験活動の随行をきっかけに新冠との関わりを続け、今回は参加者への助言などで取り組みを支えました。また、レ・コード館のデータ登録システムの構築にも携わっています。

東大生、新冠へ。

8月10日から14日まで、東京大学の学生4人が新冠町を訪れました。新冠で初めて顔を合わせた4人は、「競走馬のふるさと日高～牧場から学ぶ軽種馬（サラブレッド）産業の今と未来～」をテーマに、4泊5日のフィールドワークを行いました。



参加した学生（写真左から）

鈴木 幹太さん

人文社会系研究科
日本文化研究専攻
日本史学専門分野
修士課程 1年

和泉 悠太さん

工学部
社会基盤学科
政策・計画コース
3年

武田 知士さん

農学部
応用生命科学課程
生命科学・工学専修
3年

守時 早紀さん

教養学部（前期課程）理科二類
2年



期間中は字西泊津の「ルーミーステイにいかっぷ」に宿泊しました。

1 新冠町を見て、知る

サラブレッド銀座



優駿スタリオンステーション



レ・コード館



このほか、朝日の森や道の駅、新冠温泉など町内の多くの施設を訪れました。また、新冠での最後の夜には、海辺で流星群を眺めるなど、新冠の自然にも触れました。



ホロシリ乗馬クラブ

新冠町乗馬スポーツ少年団の小学生と交流しながら、乗馬体験を行いました。



(有)豊栄牧場

生産牧場の話のほか、歴史など、新冠町の各分野について話を聞きました。



(有)ビッグレッドファーム

競走馬調教の様子や調教設備、種牡馬厩舎を見学後、競走馬の育成をはじめ、牧場の仕事について話を聞きました。



Life is...

場所非公開で運営している引退馬牧場。競走馬引退後のセカンドキャリア、サードキャリアの現状について話を聞きました。

夏の行事を地域で楽しむ

ろうそく出せ・ふるさと盆踊り

新冠町青年団体連絡会議は、8月1日に「ろうそく出せ」、8日に「にいにかっぷふるさと盆踊り」を開催しました。どちらも天候に恵まれ、多くの子どもたちや町民が夏の行事を楽しみました。

力を呼びかけ、主催団体や保護者、中学生ボランティア「Ree子ボラ部」のほか、主催者から協力を依頼された団体などが子どもたちを引率しました。8日に開催された「にいにかっぷふるさと盆踊り」では、子ども盆踊り、新冠音頭、北海盆踊りが行われました。浴衣姿の子どもたちをはじめ、多くの町民がやぐらを囲んで踊り、ビアガーデンや露店も並ぶ会場で、夏の夜を楽しみました。



新冠野球スポーツ少年団

少年野球新冠大会連覇達成

8月2日、町民グラウンドで第48回少年野球新冠大会が開催され、新冠野球スポーツ少年団が昨年に続いて優勝しました。

新冠野球スポーツ少年団は昭和45年に設立され、56年にわたり活動してきました。現在は13人が所属し、6年生5人にとつて、今大会が最後の新冠大会となりました。決勝では、3点ビハインドの5回表に4点を挙げて逆転すると、6回表にも1点を追加し、そのまま逃げ切り連覇を果たしました。



6年生の卒団後は単独でのチーム編成が難しくなるため、新ひだか町のチームとの合同チーム結成を予定しています。

交通事故死ゼロ2000日を達成

北海道知事から感謝状

8月25日、役場会議室で「交通事故死ゼロ2000日達成」の感謝状伝達式が行われ、北海道知事からの感謝状が伝達されました。

町では、令和3年2月16日から交通事故死ゼロが続いており、8月9日に2000日を達成しました。

山本町長は、「達成は関係団体による啓発活動と、町民の交通安全への意識によるものです」と感謝を述べました。



9時間にわたり音楽を楽しむ

森林公園で「日高コズミック祭り」

8月29日、判官館森林公園キャンプ場で「日高コズミック祭り」が開催されました。詩人の御徒町風さんがプロデューサーを務める「Hi-MAG」のイベントで、9時間にわたり、日高管内のバンドサークルやプロの音楽家など14組が出演しました。

会場には日高管内7町の特設ブースや飲食・物販のブースも設けられ、来場者は音楽とともに祭りを楽しみました。



ま ち の 題 話

あれこれ

北海道ホテル&リゾートと災害時の施設提供協定

8月27日、町と新冠温泉ホテルヒルズを運営する北海道ホテル&リゾート株式会社は、「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」を締結しました。

本協定により災害発生時には、同社が運営・管理する宿泊施設等を活用し、要配慮者やその家族に施設を優先的に提供します。また、一般避難者には、共有スペースを一時的な休憩・待機場所として提供します。



同社はこれまで、災害時に避難してきた方を受け入れるなど、町の災害対応に協力してきました。協定締結にあたり、新田雅司代表取締役社長は「地域に貢献できることをうれしく思います」と述べました。



太陽の森ディマシオ美術館で初の公募展「屋外アワード」

太陽の森ディマシオ美術館で初めての公募展「屋外アワード」が行われ、8月11日に表彰式が開催されました。

全国から約50点の応募があり、4点が入選しました。表彰式では、美術館から賞金が、町から副賞の毛ガニが贈られました。なお、入選作品は園庭に展示されています。



人が集い、灯りを送る 節婦漁港の灯籠流し

8月15日、節婦漁港で灯籠流しが行われました。

この行事は平成元年から続いており、節婦町にゆかりのある多くの人が訪れました。

会場には地域の方々や帰省中の親戚が集まったほか、普段はなかなか会えない人とも再会し、灯籠を見送りながら語り合いました。



百歳おめでとうございます 長寿と末永い健康を祈念

恵寿荘で生活する中村チエさんが8月21日に100歳の誕生日を迎え、町長から長寿祝い金が贈られました。

当日は、たくさんのご家族が見守る中、町長がお祝いの言葉を贈り、ご家族からは花束が贈られ、和やかな雰囲気の中で長寿を祝いました。



新冠から2団体が出演 第47回日高管内吹奏楽祭

8月23日、レ・コード館で第47回日高管内吹奏楽祭が開催され、中学・高校・一般など16団体が出演しました。

町からは新冠中学校吹奏楽部とにいかっぴーマン楽団が出演し、単独演奏を披露しました。また、出演団体による合同演奏にも加わり演奏しました。



力を合わせて競い合う 老人クラブスポーツ大会

8月25日、新冠町民スポーツセンターで第49回新冠町老人クラブ連合会スポーツ大会が開催され、約100人が参加しました。

「人間ばんば!」や「夏の雪かきりレー」、新競技の「わっしょい!老連みこし」などで競い合い、会場では参加者から大きな声援が送られました。



新冠町物故者追悼 茶毘供養法要が執り行われる

8月31日、新冠町仏教会主催の茶毘供養法要が、水難者慰霊碑、交通安全地蔵尊、合葬墓、茶毘供養碑前の4カ所で行われました。

この法要は昭和60年より毎年続けられ、地域の弔いの文化を次世代へ守り伝えています。今年は僧侶4人を含む22人が参列し、読経や焼香で故人を偲びました。

議会

- 第3回定例会 -

9月8日に招集された第3回定例町議会は11日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。広報では、町長と教育長の行政報告内容についてお知らせします。

町長行政報告

1 給付金事業の結果について

町では、国の「強い経済を実現するための総合経済対策」に基づき、物価高騰による家計への負担軽減を図るため、2種類の給付事業を、繰越事業として実施しましたが、6月末をもって全ての事務が完了しましたので、結果について報告します。

1点目は、「物価高騰対応家計応援特別給付金事業」です。この事業は、世帯主に対し、世帯員1名につき一律1万8千円を給付するもので、予算段階では対象を4970人と見込んでおりましたが、決算は4901人に対し、総額8821万8千円の支給実績で、予算対比98・6%の支給率でした。

2点目は、「物価高対応子育て応援手当事業」です。この事業は、児童手当支給対象児童の養育者に対し、子ども1名につき一律2万円を給付するもので、予算段階では対象を750人と見込んでおりました。決算は634人に対し、総額1268万円の支給実績で、予算対比84・5%の支給率となりました。

本事業では、児童数の把握ができない公務員家庭への対応を見込み、対象人数を多めに見込んだ結果、支給率がやや低くなったものです。

なお、両事業とも早期支給と支給漏れを防ぐため、プッシュ型による給付方法を取り入れたほか、未申請者に対する周知活動を複数回行うなど、給付事務を推進してきたことも併せて報告します。

2 新冠町老人憩の家本館の閉鎖について

本施設は、昭和56年に「高齢者の健康増進」および「交流機会の確保」を目的に建設されて以来、入浴利用や各種団体の活動の場として、多くの皆さまにご利用いただいてきました。

開設から40年以上が経過しまして、利用者の減少が進んでいることに加え、施設の老朽化が著しく、特に、設備機器などの更新には多額の費用を要する見込みであることから、昨



新冠老人憩いの家本館

年11月に、設備機器の故障で更新を要することとなった場合は、憩の家本館を閉鎖することを方針化させていただきまして、利用者の皆さまにも周知した上で運営してきました。

その様な中、本年6月のボイラー保守点検において、保守業者から早急な機器更新の必要性が指摘され、更新には約700万円の費用を要するとの報告を受けたことから、7月以降、入浴施設の利用を中止し、9月末をもって本館を閉鎖することとしました。

施設の閉鎖については、事前に周知していたことや、節婦老人憩の家など代替施設の利用が可能なことから、利用者への影響は最小限であるものと捉えております。

今後は、廃止施設のあり方について、解体を含め検討する所存です。

3 第30回にいかつぶふるさと祭りについて

本年の「ふるさと祭り」は、7月18日、19日の両日において開催され、町内の祭り統合後30回目という節目の開催であったことから催しには、子ども向けのお菓子まきを企画するなどの彩りを添える内容をもって開催する計画でした。

しかしながら、開催両日は悪天候に見舞われ、市街地における2日間の降雨量が、93・5ミリを記録し、風速5メートルを超える強風になりまして、催し物の野外開催が危険な状況であったため、18日の宵宮における「俵担ぎレース」は中止となり、翌日の催し物も、「歌謡ショー」を除く全ての催しが中止となりました。

本年度の「ふるさと祭り」は、催し物の大部分が中止となる残念な結果となりましたが、これらの判断は、お祭り両日の気象予報と状況、そして危険性を見極めたものであり、「人の安全には代えられない」という責任ある実行委員会の判断であったと捉えているところです。

町の伝統行事である「ふるさと祭り」は、将来へ確実に引き継がれていかなければならない行事のひとつであります。

そのためには、「長く愛されるお祭り」であることはもちろんのこと、安全が確保されたお祭りであること

が何より重要であります。

町としましては、実行委員会とともに「安全を第一としたお祭り運営」を基本としながら、町民に愛され、「次の世代へ受け継がれるお祭り」となるよう、連携した取り組みを進めていく考えです。



雨のなか行われた氷川若衆会による神輿渡御

4 創業支援補助制度などを活用した事業支援について

人口減少や少子高齢化が進む中、行政だけで地域課題を解決することは、年々難しくなっています。

困難な時代に直面する中、町は、民間事業者の持つ「発想力や行動力」を、「地域づくりの力」として用いることを重要施策の一つと位置付け、本年度から「創業」や、「公共施設の

利活用」、更には「地場産品の開発など」への支援を想定し、『創業支援補助制度』を創設して、民間事業の立ち上げを支援させていただいているほか、「地場産業開発支援制度」を拡充させることで地域資源の開発に努めてきました。

そのような中、本年度に入り4件の「創業支援補助制度等」の利用申請があり、審査会による審査を経て、補助採択させていただきました。

補助採択となったのは、「青年の家を活用した宿泊事業」や「朝日の森を拠点とする香粧品の開発、販売事業」、更には、「新たに開院するベックトリニック」などの創業であり、いずれも事業が立ち上がり、事業運営が始まった後は、町の活性化に資する事業と捉えております。

加えて、町内酪農家の方が自家製生乳を使ったチーズなどの生産を行うといった取り組みに対しては、「地場産業開発支援制度」の対象といたしまして、6次産業モデルの構築として支援決定しました。

先に申し上げたように、人口減少社会においては、行政だけで「地域課題」に対応することには限界がある一方、多様化する「地域ニーズ」に应运て行くためには、民間事業者の「創意工夫や行動力」を地域づくりに活かしていくことが、これまでに以上に重要になるとの考えのもと、

5 官学連携と町内牧場の協力によるまちづくり事業の推進について

令和7年度に行った東京大学の学生による「牧場でのフィールドワーク事業」は、まちづくり事業に対する提言をいただくことで、町の魅力の再発見につながるとともに、若い世代の「視点」と「自由な発想」が、まちづくりに与える「力」となりうることを改めて認識する機会となりました。

昨年の参加者の中には、当町の「自然環境」と、まちづくり「軽種馬生産」に強い関心を寄せ、自らの将来への取り組みの可能性を見つけた学生もあり、現在、企画課内に籍を置く「地域おこし協力隊員」につながっていることは、取り組みの成果と感じているところです。

この地域おこし協力隊員の活動は、当町のまちづくり資産である「レコードの活用」と「事務作業の効率化」に加え、東京大学との連携や、牧場との協力による取り組みを、まちづくりにつなげていく役割を担っているほか、新冠中学校の探求学習におけるサポーターとして協力支援するなど、活動の範囲は、多方面に及んでいます。活動開始から半年近く経過することから、現在の取り組み状況と今後の計画について報告します。

まちづくりの中核施設「レコード館」は、町のコミュニティ活動の場としての中心的役割や、音楽遺産である「レコードの收藏と管理」を担ってきましたが、音楽的価値を有する收藏レコードの更なる活用については、長年の課題となってきました。

これらの課題に関し、昨年の「東大フィールドワーク」において提言された、レコードデータベースの「インターネット公開」と、「サイトを活用したデータ入力作業の効率化」については、現在、協力隊員が中心となっており、関係職員との協働による作業手順の共有化も図られるなど、町の課題解決に向けた具体的な取り組みが進んでいます。

今後、レコードデータベースの「ネット公開」が、どのような反響を生み出すかは未知数であります。し

かし、現状に留まることなく、新たな取り組みを開始したことで、まちづくりの可能性が拡大したものと考えています。

また、東大との連携事業におきましては、本年8月10日から14日までの5日間、4名の大学生と関係者が訪れ、町内牧場の協力のもと、軽種馬生産の現場を実際に体験し、「軽種馬生産」と「当町のまちづくり」の関わりについて、それぞれの学生が、町の未来像を考えるフィールドワークが実施されております。

この度の取り組みにおきましては、専攻の異なる学生が個々にテーマを定め、それぞれの観点で当町のまちづくりについて感想を述べるという、これまでの提言型の取り組みとは、異なるものでしたが、若い発想と将来ビジョンを知ることができた点は、これまでと変わるところはなく、実に有意義な取り組みになったものと受け留めております。

学生の感想の中には、「新冠町は、観光に頼ることなく生き残ることができる」「町の強いエンジンを伸ばして行くべき」など、どれも新鮮で心に響くものがあり、新たな視点を胸に刻むことができました。

このような「大学が行うフィールドワーク」は、学生を受け入れ、軽種馬生産の現場を学ぶ機会を提供いただいた牧場の皆さまの「ご理解と

ご協力」によって実現したものであり、実施主体である東京大学と共に、町としても、ご協力に深く感謝申し上げます。ご意見をありがとうございます。

東大による「フィールドワーク」は、今後3回実施計画されており、当町での取り組みの事例を協力隊員が、学内報告する機会が設けられるなど、今後、大学との連携は更に深まっていくものと考えております。

まちづくりの推進におきましては、関係機関との協議や町民の声を丁寧

に聴き取ることに加え、町外から当町を見つめる「新たな視点」や、「若い世代の自由な発想」を取り入れて行くことも大切であると考えてるところです。

そのような観点からも、大学との連携は、町が気付かなかった「地域資源の価値や可能性」と、その「活用手法」を見出す契機となり、今では収蔵レコードのインターネット公開といった町有資産の新たな活用につながろうとしています。

町としましては、官学連携を交流事業に留めることなく、大学が有する「知見」や「若い世代の発想」に加え、町内の牧場をはじめとする地域の協力を、まちづくりの力として活かすことで、新たな可能性を生み出す取り組みにつながるよう積極的

に推進して行く考えでございます。今年度は、令和7年度に教育行政執行方針で掲げた重点施策に基づき、教育委員会各課が実施した事務事業について、学校教育においては各学校における評価なども踏まえながら内部評価を行った後、学校運営協議会、社会教育委員協議会、スポーツ推進委員会、認定こども園保護者会に外部評価をいただいたところで

す。令和7年度の教育行政の執行にあ

たつては、重点施策に基づき、計画した事務事業を展開したところでありますが、教育予算全体にわたりご配慮をいただいた上で、概ね計画どおり実施できたものと考えております。まず、管理課所管の学校教育に係る事務事業では、「子どもたちを中心としたウェルビーイングのさらなる充実と学校教育の活性化」を掲げ、一人一人のウェルビーイングの向上と日々の積み上げによる学力向上、豊かな心と健やかな体の育成、特色ある教育活動の推進、特別支援教育の充実、信頼される学校づくりの推進、教育環境の整備、認定こども園の教育・保育の推進の7つの取り組み

6 大雨による被害状況について
本年、7月18日から19日にわたり、北海道に前線を伴った低気圧が近づき、日高地方では大雨に見舞われ

ました。当町の状況を、この2日間で見ますと、最大24時間雨量は、新栄で125ミリ、明和で116ミリ、笹山で103ミリ、町内8カ所の観測地点のうち6地点で80ミリ以上を記録しております。

特に、笹山における7月の雨量では、1988年（昭和63年）の統計開始以来、観測史上2位、最大24時間雨量103ミリを記録しました。

今回の大雨による「被害状況」ですが、町道や河川・明渠、更には林道や治山施設において、路肩決壊や法面崩土、土砂の埋塞や路面流出、倒木などが複数箇所が発生し、緊急対応を要すると判断し、7月21日付で専決処分にて、「修繕費予算」を追加補正させていただきました。

内容としましては、道路・河川・明渠で12件、330万5千円に加え、林道・治山で9件、272万2千円、合計21件、602万7千円の補正内容となっております。

全国的に線状降水帯による集中豪雨など、従来と異なる災害事象が各地で発生しておりますが、町としましては、迅速な初動対応が実行できるよう、日頃からの「危機管理意識

らなる充実に向け実践してきたものと考えております。また、社会教育課所管事務事業におきましては、「ふるさとを愛し、生涯にわたり、学びあい、教えあう学習社会」を掲げ、レ・コード館を中心とした生涯学習社会の推進、生涯にわたってスポーツに親しむ社会体育の推進、郷土愛を育む郷土資料館事業の推進、豊かな感受性と社会性を育む図書プラザ事業の推進、豊かな人間性と自律を促す青少年教育事業の充実、協働型参画社会を目指すた成人教育の推進の6つの取り組み

べき施策の下、推進目標を設定し、各種団体やそれぞれの分野における人材、また、学習意欲を持つ町民のみなさまに支えられながら、年間を通じた事業展開を図ることができたと考えております。教育委員会としましては、評価の過程でいただいたご意見を参考に、今年度の事務事業の執行に活かしていくとともに、次年度以降の事務事業の改善や推進に努めていく所存です。2 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について
本年、4月末に実施しました全国学力・学習状況調査について、文部科学省から結果が公表されましたので、概要について報告します。

の向上」と「体制整備」に努め、職員一丸となって防災行政を推進する所存です。

7 北海道ホテル&リゾート株式会社との災害時における宿泊施設等の提供に関する協定について

この度、当町と北海道ホテル&リゾート株式会社は、本年8月27日付けで「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」を締結しました。当社は、「新冠温泉レ・コードの湯」の指定管理者として、町の観光振興や地域活性化に多大なるご尽力をいただいている企業です。

これまで培ってきた信頼関係を背景として、災害発生時における避難所生活の課題解決に向けた連携をさらに深めることとなり協定締結の運びとなりました。

災害時の避難所生活は、特に高齢者や障がいのある方、妊産婦や乳幼児などの配慮を要する方々にとつて肉体的・精神的な負担が大きく、健康悪化のリスクが深刻な課題となります。

本協定の締結によりまして、当町において災害が発生した場合、同社が運営・管理する宿泊施設などを活用し、要配慮者やそのご家族に、宿泊施設を優先的に提供されるほか、一般避難者に対しても、共有スペースを一時的な休息・待機場所として

本調査は、小学校6学年、中学校3学年を対象に「教科に関する調査」として国語、算数・数学、英語の3教科について実施するとともに、「生活習慣や学習環境に関する調査」として、児童生徒質問調査を実施しております。

はじめに教科に関する調査についての正答率は、小学校では、国語・算数を全道、全国と比較すると、ともに『低い』という結果となりました。中学校では、国語・数学において全道・全国と比較すると『低い』という結果となっております。英語3技能については、全道・全国とほぼ同様かやや下回っている現状にあります。総じて全道・全国平均よりも低い傾向にある結果となりました。

また、正答率3割以下の児童生徒数が全国平均を上回っており、理解度の二極化が顕著に表れる結果となっております。

次に、児童生徒への質問における学習習慣などの調査では、小学校・中学校ともに1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合が全国を大きく下回り、現在の中学校3年生が小学校6年生当時の調査結果と比較しても、家庭学習時間の確保が難しい状況となっております。

生活指導などに絡めて睡眠時間やゲーム・動画視聴時間などについて学校・家庭と連携し、生活習慣の改

教育行政報告

1 「教育委員会点検・評価報告書」の提出について

教育委員会点検・評価報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、「効果的な教育行政を推進し、地域住民への説明責任を果たす」ことを目的に、教育委員会がその権限に属する事務事業の管理、および執行の状況について、点検・評価を行うこととされており、

役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

「新冠町二十歳を祝う式典」のお知らせ

令和9年1月10日（日）レ・コード館において「二十歳を祝う式典」を開催します。出席するには事前の申込が必要です。

○対象者

平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方で、次の条件を満たす方。

- （1）現在、新冠町に居住している方
- （2）新冠町出身の方

○開催日時

令和9年1月10日（日）12時00分～12時30分

○会場：レ・コード館 町民ホール

○申込方法

- ・申込フォームより必要事項を入力し申込み下さい。申込フォームには、右のQRコードよりアクセスできます。



- ・申込後、11月24日（火）までに式典の案内が郵送されない場合は必ずお問い合わせください。

○申込期限 令和8年11月9日（月）まで

●問い合わせ先

教育委員会社会教育課（レ・コード館）
☎ 0146・45・7833 FAX 0146・45・7778

「第56回新冠町民文化祭」のお知らせ

町民文化祭を下記の日程で開催します。皆さまの来場を心よりお待ちしております。（入場無料）

【芸能発表会】

○日程：10月18日（日）

開場12時30分 開演13時00分

○会場：レ・コード館 町民ホール

○出演団体

こまどり民謡会、シングシング、新冠フラサークル、ハーモニカサークルハルニレ、レ・コード館ダンス舞、Crown's Record、合唱団V o l、にいかっぷピーマン楽団、新冠民族文化保存会、にいかっぷ重軽音楽部、市民劇団『ど・こ〜れ新冠』、新冠判官太鼓保存会、新冠中学校吹奏楽部

【総合作品展】

○日程：10月23日（金）～10月25日（日）
10時00分～18時00分
※10月25日（日）は16時00分まで

○会場：レ・コード館 町民ホール

○作品出展団体

池の坊 新冠華道サークル、新冠書院、此の径短歌サークル、新冠陶芸サークル、にいかっぷネイチャーズクラブ、新冠ほくと園、放課後子ども教室、認定こども園ド・レ・ミ、町内小中学校、個人出展者

●問い合わせ先

教育委員会社会教育課（レ・コード館）
☎ 0146・45・7833 FAX 0146・45・7778

令和8年度 電源立地地域対策交付金

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置や運転を円滑にするため、立地する周辺地域に交付される交付金です。

令和8年度の交付金額は23,217千円の予定で、新冠町立認定こども園ド・レ・ミの保育教諭などの人件費に活用されます。

認定こども園ド・レ・ミ ☎ 0146・47・2489



善に取り組む必要があります。
また、「将来の夢や目標をもっている」といった自己肯定感や自己有用感の質問では、小学校では改善傾向にあるものの、中学校では全国と比較すると低く推移しております。
このような傾向を踏まえ、中学校では特に、子どもたち自身が誰かのためになっている、必要とされていると実感できる体験を日常的に増やしていくなど、家庭も巻き込んだ取り組みとして改善を図っていく所存です。
他の項目では、『総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか』という項目で充実割合が高く、ふるさと学習など、小学校・中学校の継続した取り組みの成果であると捉えております。
本調査は、児童生徒が身に着けるべき学力の一部分の傾向であることや、調査結果は、学校における教育活動の一側面でありますことから、これらの調査結果と他のさまざまな情報を合わせて、総合的に分析・評価することが必要であり、個々の設問や領域などに着目して、学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習意欲の向上につなげることが重要となります。
各校においては、本年度の結果を

踏まえ、校長を中心として、教職員が詳細な結果分析を行い、共通認識をもった上で、今後の授業改善や、家庭学習の定着化に向けた取り組みを強化していくこととしております。
また、当町では各校の結果分析などを受けて、教職員で組織する小中連携推進会議において、町としての分析と課題整理を行った上で、目標を定め町全体として共通の取り組みを行ってまいります。
なお、調査結果の詳細につきましては、町広報誌、町ホームページにおいて、今後の改善策を含め、改めて公表します。
3 中体連全道大会および各種大会の出場結果について
新冠中学校では、本年度、男女陸上競技・男女バレーボール・男子バドミントンの3種目で、中体連全道大会への出場を果たしました。
陸上競技およびバドミントンについてはいずれも予選敗退という結果に終わりました。
バレーボールは、男女とも決勝トーナメントまで駒を進めました。惜しくも1回戦で敗退となりました。
全道大会に出場した生徒達は暑期中、日頃の練習の成果を十分発揮しながら最後まで奮闘しました。
また、吹奏楽部においては、「日胆地区吹奏楽コンクール」中学校C編

成の部に出場し、見事「金賞」を受賞したものの、惜しくも全道吹奏楽コンクールへの出場は叶いませんでした。
各種大会へ出場した生徒たちは、緊張感あふれる会場において、技術力や精神力の面で多くのことを学ぶ貴重な経験をし、大きく成長したものと捉えております。
4 静内高校馬術部全日本高等学校馬術競技大会団体3位入賞について
静内高等学校では、本年度からホロシリ乗馬クラブと連携し、地域連携という枠組みで、新たに馬術部を創設して活動しております。
静内高校馬術部は、団体競技として行われる第60回全日本高等学校馬術競技大会北海道予選において、優勝し、7月22日から静岡県御殿場市で開催された全国大会（インターハイ）に出場を果たしております。
団体戦は3人1チームで構成され、今大会は静内高校2名と北星学園女子中学高等学校1名による合同チームとして出場しており、静内高校の2名は新冠町から通学する3年生の藤本夕雅さん、須田侑成さんが選手として出場しております。
全国大会では地区予選を勝ち抜いた36校の強豪校が集まり、選手たちの実力だけでなく、その場で用意された「貸与馬」をいかに乗りこなす



全国大会で3位に入賞した
静内高校・北星学園女子中学高等学校連合チーム

かという人馬の相互理解と信頼、戦略性が必要となる難しい競技である中、静内高校合同チームは、準決勝まで勝ち進み、堂々の全国3位入賞の成績を収められました。
このたび、新冠町から多くの生徒が通う静内高校が地域連携の取り組みで馬術部の創設とともに輝かしい成績を収められたことについて、非常に喜ばしく感じるとともに今後とも教育委員会といたしましては、地域の高校としての位置づけの中、応援協力体制を整えていこうと考えている所存です。

ヒグマにご注意ください - 9月1日から10月31日までは「秋のヒグマ注意特別期間」です -

近年はヒグマとの突発的な遭遇による事故が全国各地で発生しているため野山に入られる方はヒグマと遭遇しないために、野山に入るときは次のことに注意しましょう。

『山には一人で入らず音を出しながら歩く』

自分がいることをヒグマに知らせることで遭遇を避けられる可能性があります。

『うす暗いときは山に入らない』

視界も悪く突発的にヒグマに遭遇する可能性があります。

『ヒグマのフンや足跡、動物の死体を見たら

すぐに引き返す』

付近にヒグマが潜んでいる可能性があります。

『ゴミはヒグマを呼び寄せるため

絶対に捨てない』

後から来る人を危険に陥れる可能性があるため絶対にしないでください。

ヒグマに対する対策をしても、ヒグマとの突発的な遭遇を必ず避けられることはありませんので、不必要に野山へ入ることはやめましょう。

- もしも出会ってしまったら
- ヒグマの様子を見ながら、視線をそらさずに静かにゆっくりとその場から離れましょう。スマートフォンなどでの撮影はヒグマを興奮させるため絶対にしないでください。
- 子グマの近くには必ず親グマが居ます。不用意に近づけば、我が子を守るために母グマが襲ってくるため近づかないでください。
- ★市町村ヒグマ関連リンク集
- 北海道では、ヒグマに関する注意情報を提供している道内市町村のホームページリンク集を公開していますので、情報確認にご活用ください。
- 問い合わせ先
- 産業課鳥獣被害対策推進室 ☎ 0146・47・2110



北海道ホームページ市町村ヒグマ関連情報リンク集

健康カレンダー

(お問い合わせ先：保健福祉課 ☎ 0146・47・2113)

月 日		時 間	事業名	場 所
10月	7日(水)	19:00~20:30	からだリセット講座	保健センター
	14日(水)	10:00~11:30	母親学級「キレイ☆ママパパー〜む」〜育児編〜	
	16日(金)	15:00~16:30	フッ素塗布	
	21日(水)	19:00~20:30	からだリセット講座	
11月	27日(火)	受付 10:00~ 受付 13:00~	4・7・12カ月児健康診査 1歳6カ月・3歳児健康診査	保健センター
	1日(日) 2日(月)	受付 7:00~	特定健診、若年健診 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 肝炎ウイルス・エキノコックス症検査	

事業の詳細は、対象者への個別案内などでお知らせします。

ご寄附ありがとうございました。(敬称略)

- 老人ホーム「恵寿荘」で役立ててと
- ☆三澤 隆光 (30,000 円)
- ☆藤原 まさ子 (古布 1 袋)
- ☆長谷川 照男 (トマト 7.5 kg、ミニトマト 3 kg、ナス 3 kg)
- ☆ボランティアグループちよぼら (カット布 6 袋)

新冠町社会福祉協議会へ

- 香典返しに代えて
- ☆山岡 栄治 (100,000 円)
- ☆三澤 隆光 (30,000 円)
- 福祉事業に役立ててと
- ☆五嶋 定光 (古布 1 袋)
- ☆匿名 (古布 2 袋)
- ☆匿名 (古布 1 袋)

古布寄贈のお願い

古着や古シャツなど、使用しなくなったものがありましたら、直接、国保診療所・老人ホーム恵寿荘・町社会福祉協議会にご持参ください。

新冠町プレミアム付商品券の『二次販売』を実施します

9月17日まで販売したプレミアム付商品券販売後の残数を、二次販売いたします。

二次販売は先着順での販売とし、商品券がなくなり次第終了となります。購入を希望される方は、必要なものをご持参のうえ販売会場へお越しください。

○販売日時

令和8年10月18日（日）午前10時から

○販売場所

本町多目的交流センター（1階事務室）

○販売方法および購入限度冊数

先着順。1人最大20冊（10万円）まで。

○購入時に必要なもの

身分証明書・現金

- 対象者
- 町内に住所がある18歳以上の方
- 商品券の内容
- 1冊5,000円で7,500円分利用できる商品券
- 商品券の使用期限
- 令和8年12月31日（木）まで
- ※使用期限を過ぎての使用や返金もできませんのでご注意ください。
- ※詳細は事務文書の「新冠町プレミアム付商品券二次販売のお知らせ」をご確認ください。
- 問い合わせ先
- 新冠町商工会 ☎ 0146・47・2421
- 企画課商工労働観光係 ☎ 0146・47・2498

带状疱疹ワクチンの定期接種について

令和7年度より带状疱疹ワクチンが定期接種となっています。

○带状疱疹とは

带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水泡（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。

合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。

○带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

- ＜带状疱疹ワクチンの助成対象者＞
- （1）年度内に65、70、75、80、85、90、95、100歳になる方
- （2）60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に重い病気のある方
- ※新冠町では、上記以外の65歳以上で早めに接種を希望される方は定期接種対象年度を待たずに接種することが出来ます。
- 早めに接種を希望される方は、必ず事前に役場までお問い合わせいただき、予診票の発行を受けてください。
- 問い合わせ先
- 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係 ☎ 0146・47・2113

農地の転用には許可が必要です

農地に住宅や農業経営に必要な施設を建設する場合、あるいは資材置場や道路など農地以外にす

る場合には、農地転用許可が必要となります。この農地転用に係る申請については、農業委員会の審議を経て、道（知事）へ送られ審議された後、許可（もしくは不許可）となります。

許可を受けずに建物を建設したり、許可の内容と異なることを行った場合は、工事の中止、原状回復などの指導が行われます。改善されない場合は「農地法違反」として、懲役や罰金が科せられ

- ることとなります。
- 農地転用には他の法令の許可（農業振興地域指定の変更など）も必要となる場合もあることから、申請から許可されるまでに相当の日数を要しますので、転用の計画がある時はお気軽に農業委員会までご相談の上、早急に申請手続きをお願いします。
- 問い合わせ先
- 農業委員会事務局 ☎ 0146・47・2472

お知らせコーナー

赤い羽根共同募金への ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金は今年で80周年となります。寄せられた募金は高齢者、子ども、障がい者などを対象とした幅広い活動のために役立てられます。

募金への協力は、自治会での戸別募金の他、町内各地に設置した募金箱、寄付金付きグッズ（バッチ・クリアファイルなど）でも可能となっています。福祉推進に向けご協力をお願いします。

○期間 10月1日～12月31日
●お問い合わせ先
新冠町共同募金委員会
（新冠町社会福祉協議会内）
☎0146・47・2130

北海道障害者職業能力 開発校の訓練生募集

「北海道障害者職業能力開発校」では、令和9年度の訓練生を募集します。
当校は、一般就労を目指す障

害のある方を対象に、職業訓練を行う施設です。

専門的な知識や技能を身に付けていただき、各分野での一般就労を目指します。

○募集科目、訓練期間、対象者

科名	訓練期間	対象者	年齢による対象者
建築デザイン科	令和9年4月から6ヶ月	身体障がい、精神障がい、発達障がいのある求職者	高等学校卒業見込み者と同年齢以上
CAD機械科	令和9年4月から1年		
総合ビジネス科	令和9年4月から1年		
プログラム設計科	令和9年4月から2年	知的障がいのある求職者	新規中学校卒業者と同年齢以上
総合実務科	令和9年4月から1年		

○募集期間

10月1日（木）～10月21日（水）

○選考日 11月2日（月）

○選考場所

北海道障害者職業能力開発校
（砂川市焼山60番地）

○試験内容 数学、国語、面接

●お問い合わせ先

北海道障害者職業能力開発校
☎0125・52・2774

アイヌの人々の 人権相談

法務局職員および人権擁護委員は、インターネット上の差別・誹謗中傷、DV、パワハラ、近隣トラブルなどの人権に関する困りごとを解決に導く取り組みを行っています。

次の日程で、アイヌの人々を対象とした人権相談所を開設します。

ご相談いただいた内容についての秘密は守られますので、これまで人に相談することを踏みとどまってきた方も、ぜひこの機会に人権相談所をご利用ください。相談は無料で、予約や難しい手続きもありません。
また、近隣の町でも別日で同様の相談所を開設予定です。他

町の相談所の利用を希望する方は日程を法務局までお問い合わせください。

○対象 アイヌの人々

○日時 10月6日（火）

13時～16時

○費用 無料

●お問い合わせ先

札幌法務局日高支局
☎0146・427・0415

心配ごと相談員による 面接相談

新冠町社会福祉協議会では、町民の皆さまの心配ごとや困りごとについて相談窓口を常設し、偶数月には専門の相談員による面接相談所を開設しています。

ご相談のある方はご来所いただくか、お問い合わせ先までご連絡ください。

○日時 10月21日（水）

10時～15時

○場所 町社会福祉協議会

○相談員 鬼海 将芳 氏

○相談料 無料

●お問い合わせ先

新冠町社会福祉協議会

☎0146・47・2130

狩猟期間中における 道有林への入林自粛

エゾシカ狩猟期間中（地域によって異なりますが、多くの地域では10月1日から3月31日まで）は、多くの狩猟者が道有林へ入林します。狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えくださるようお願いいたします。

エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●お問い合わせ先

北海道水産林務部森林環境局
道有林課道有林管理係
☎011・204・5519

日高弁護士相談センター

相談は予約制です。
相談を希望される方はお電話ください。

○センター開設日

9月・28日（月）・30日（水）

10月・5日（月）・7日（水）

14日（水）・19日（月）

21日（水）・26日（月）

28日（水）

○相談時間 13時～15時

○予約受付 平日10時～16時

●ご予約・お問い合わせ先

ひだか弁護士相談センター
☎0146・42・8373

すぐに伺います！

※福祉用具レンタル・販売
・歩行器・つえ・車いす・ベット 介護用品
※住宅改修 ・手すり取付・段差解消など
福祉用具専門相談員のいる店
新冠町北星町18-9
（有）西村金物店
☎01464-47-3122

ケイセイマサキ建設

建設業を通じて地域に夢を与える

新冠町大狩部98-1
T 0146-45-5003 F 47-6005
まちを支える仕事、のぞいてみませんか？
☎0146・42・8373

あなたの町のカー & ライフサポーター!!

BRIDGESTONE カーケア & タイヤショップ
SUZUKI ARENA スズキアリーナ新冠
新冠郡新冠町中央町5-28 TEL. (47)-2820

ココロも満タンに
コスモ石油
新和SS (47)-5011 新冠SS (47)-3830
株式会社 伊藤商会

面談 完全無料
あなたの悩みに
コタエを出します
相談予約ダイヤル ☎0146-42-8373
平日 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)
札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

フラワー スタンド花 アレンジメント
フラワーつつみ
TEL 0146-47-4878
FAX 0146-47-4879
新冠町字東町 19-18

ひだか総合法律事務所
弁護士 原 英士（札幌弁護士会所属）
弁護士 原 万里子（札幌弁護士会所属）
新ひだか町静内御幸町3-1-78-2F
相談予約 ☎0146-43-1206
～ ご遠慮なくご相談ください ～
平日10:00～18:00 (12:00～13:00を除く)

葬儀一式 24時間受付
新冠セレモニーハウス
新冠葬祭
☎(0146) 49-2044 FAX (0146) 49-2045
新冠郡新冠町字西泊津1-6

OA・文具・家具・カーテン
株式会社
Liberty Hashimoto
TEL(45)-7021 FAX(45)-7022
新冠町字北星町2-61(役場の目の前)

新冠町相談支援事業所 相談室がける
新冠町にお住いの障がいのある方々様々な相談に対応します
○相談は年齢や障がい種別を問いません
○福祉サービスの利用、日常生活、仕事などのような内容にも応じます
○相談にかかる費用は無料です
新冠町本町 65-17 えまじあ1階 TEL47-2333

てんげんマイカー
点検教室
参加費無料!! 受講者募集中!!
日時 令和8年10月3日（土）14時～15時
場所 静内地方自動車整備協同組合
お問合せ先 静内車検場 小田 0146-42-0761
※参加者には素敵なプレゼントをご用意しています。

看護職員・正職員・パート職員募集
パート職員・週1日勤務からも可能
介護正職員・パート職員も募集中
各種手当あり。珍しい手当あり
詳しくはこちらのホームページをご覧ください
社会福祉法人 ふくろう会 特別養護老人ホーム おうるの郷
【住所】新冠郡新冠町中央 318-19 【電話】0146-47-6296



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。
夜8時まで開館しています。

アニマル号（移動図書館車）運行日程

9月30日	10：40～10：50	太陽簡易郵便局
	15：00～15：30	新冠小学校
	16：00～16：25	認定こども園ド・レ・ミ
	16：35～16：55	町民センター前（児童館）
10月8日	10：05～10：20	新冠小学校
	11：20～11：35	おうの郷
	12：00～12：15	子ども発達支援センター
14日	12：50～13：15	認定こども園ド・レ・ミ
	15：00～15：30	新冠小学校
	15：35～16：00	町民センター前（児童館）

※状況により運行が変更・中止となる場合があります

びっくり箱のおはなし会

定例読み聞かせ（毎月第4土曜日開催）

10月24日（土）10：30～

赤ちゃんの絵本の読み聞かせ（毎月第4水曜日開催）

10月28日（水）10：30～

主催 読み聞かせの会「びっくり箱」
場所 図書プラザ おはなしのへや

あおぞら図書館事業

図書プラザ「あおぞら図書館」を開催します。びっくり箱さんの読み聞かせや工作教室など年に一度の屋外事業となっております。ご家族お揃いでお越しください。

○開催日時 10月3日（土）10時～12時

○場所 レ・コードパーク
（役場駐車場隣の公園、東屋付近）

●問い合わせ先 レ・コード館図書プラザ ☎0146・45・7777

今月の一冊



「王国」
湊 かなえ 著／マガジンハウス
生まれ故郷の海を愛する母、国際協力事業団で海を守る仕事に就く父、2人を見て育った浜崎朔也は海洋学部で学び旅行代理店を経て、ウェルネス・ツーリズムの会社「海の王国」を興すが…。夢がようやく形になりかけた矢先、ある悲劇が起きる。湊かなえ作品第30作目。

新着ガイド

本を読めなくなった人のための読書論
令和を生きぬく貴方たちへ
アンネは、なぜ死んだのか
たびたび
0から学ぶおしゃべり手話入門
自分だからできる仕事のつくり方
物語をつむぐ元素の図鑑
それ、全部腸の話です。
物欲、やばっ。
お酢推すレシピ
在来馬8種めぐり
レコード芸術を聴く悦楽
ぼけていく私
夏帆
ハヤブサ消防団 2
永遠の記憶（ガリレオ11）
けんぐわい
最恐ホラー呪われた図書館

若松 英輔
美輪 明宏
土山 優
さくら ももこ
サヤボー
秋元 祥治
荒船 良孝
胃腸 良子
藤原 華
岩間 明子
佐藤 円
岡崎 哲也
佐藤 愛子
村上 春樹
池井戸 潤
東野 圭吾
朝倉 かすみ
平山 夢明

みんなの広場

ぼくと
わたしの

夢

新冠小学校
6年生です



私の夢は、バレーボール選手になって、大きい試合の大会に出たいです。理由は、バレーが大好きだからです。

田中 珠奈



将来の夢はバイクで日本一をとることです。ジャンプをするのが気持ちいいし、楽しいです。

中川 結翔



ぼくの将来の夢は鷹匠と投資家です。鷹匠は年収が低いので投資で年収の部分を補い地域貢献をしたいです。

Doyle 理央



絵をかくのが好きな友達を集めて全員で絵をかきたい。

白浜 唯乃



浜口 甚四郎

『ふるさと探究 第25回』
『浜口甚四郎と酢德利』
浜口甚四郎は安政5年（一八五八）に淡路島（兵庫県三原郡松帆村）で生まれました。明治28年（一八九五）に家族4人を伴い米国船ソステルレール号に便乗して函館に上陸し、3月に去童村（朝日）に移住しました。明治39年に同志を集めて農事組合を結成、開拓や教育に尽力して村の基礎を作り上げました。
郷里から大切に持参したものに酢德利（写真）があります。酢は調味料ですが、体調の改善や殺菌作用があり、保存食への利用もできます。新天地での生活の備えでもあったのです。酢德利は全面に茶褐色の釉薬を施した陶器で、高さ38センチ、重さ4・6キロ、五升入りです。器面には筆書で中央に屋号のヘヤ、右手にヲノ、左手にミチとあり、広島県尾道のヤマヲと解読できます。調べてみると明治時代前半、大正7年頃（一九一八）に尾道で開業していた造酢業の稲田伊兵衛の店であることがわかりました。



酢德利（郷土資料館蔵）

徳利は注文により窯元が納品し、酢を注いだ後に桐製の木栓をして販売・出荷をしていました。この酢德利は新冠の開拓当時に語る貴重な歴史資料となっています。（乾 芳宏）

新冠百話

第九十三話

「新冠温泉事情」(要約文)

新冠には古くから温泉場が複数あった。火山帯ではないので冷泉だが、これを沸かし湯にして人々は利用してきた。その歴史を紹介したい。

●無名温泉と砂金掘り

明治時代、高江と節婦の間に泥火山からの湧水を沸かした温泉があった。この近くで砂金掘りが盛んに行われており、一攫千金を夢見た人たちの憩いの場所であった。

●前田温泉

大正八年頃、新冠と静内の境界付近に湧水を沸かした温泉があった。白髪の老婆が一人住んでいたという。交通機関の無かった時代、多くの人がここで足を癒したと伝わっている。

●節婦稲荷温泉

大正十五年、節婦稲荷神社が建立された。建立者は夢でお告げを受け神社を建てたという。また、近くの沢の水が温泉に適するともお告げがあり、泉質を調査し稲荷温泉と称したと記録がある。

●大東温泉と黒大工

昭和十年頃、道路側に窓が無く湯気抜

き屋根のかかった建物が節婦にあった。ここに男が住んでおり、色黒で手先が器用だったことから黒大工と呼ばれていたという。

●姉去温泉

大富にある溪流の上流に泉源があり、これを沸かし湯にして付近の人は利用したと伝わっている。

●判官館温泉

昭和三十年頃、観光開発として試掘と地下水の分析が行われた。泉源が町民の保養施設として利用されたが、その後この場所にユースホステル(現在は廃業)を建設することに方針変更された。

いずれも現在に残っていないが、平成十年にレ・コードの湯がオープンし、町の温泉として親しまれている。



判官館温泉跡(旧ユースホステル付近)

あなたの119番通報で救える命(通報時のポイント)

「何が・どこで・誰が・どうしたか」などの通信員の質問に
落ち着いてゆっくり正確に伝えることが大切です。
 通報者の氏名、電話番号も確認させていただきます。
 (再度、消防から詳細の確認連絡がある場合があります。)
 消防署新冠支署

戸籍の窓

8月6日～9月5日までの届出分(敬称略)

●いつまでもお幸せに

川村 慎 ♡ 鹿島 寿 東 町
 伊藤 航 ♡ 阿部 里英 中央町

●お誕生おめでとうございます

福嶋 里都(竜太 千夏) 中央町

●おくやみ申し上げます

三澤 松栄 86歳 大 富
 佐々木 基子 63歳 北星町
 向井 成司 93歳 大狩部
 椎名 徳次 78歳 新 和
 小田島 克彦 56歳 太 陽

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
 ☎ 0146・47・2112

町公式ホームページ 町公式フェイスブック



人のうごき

(令和8年8月末現在)

人 口 4,918 人 (前月比 + 20 人)
 男 2,526 人 (前月比 + 15 人)
 女 2,392 人 (前月比 + 5 人)
 世 帯 2,849 世帯 (前月比 + 18 世帯)